



20th

仙台ニューフィルハーモニー
創立20周年記念 第34回定期演奏会

20th Anniversary

Sendai New Philharmonic Orchestra
34th Subscription Concert

Beethoven Symphony No.9



■指揮
末廣 誠

Program

R・ワーグナー

歌劇「タンホイザー」より大行進曲

L・V・ベートーヴェン

交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」



■ソプラノ
渡部 ジュディス



■メゾソプラノ
中村 敦子



■テノール
田中 誠



■バリトン
松本 進

合唱

仙台ニューフィルと「第九」を歌う合唱団

合唱指揮

佐藤 淳一

合唱ピアノ伴奏

佐藤 春香

- 主催 仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団
 ■後援 宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・(財)宮城県文化振興財団・仙台市市民文化事業団
 河北新報社・朝日新聞仙台支局・毎日新聞仙台支局・読売新聞社東北総局・産経新聞東北総局・仙台リビング新聞社
 @@@ 仙台放送局・TBC 東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・(株)東日本放送・Date fm・せんだいたウン情報・ラジオ3
 ■問合せ 仙台ニューフィルハーモニー事務局 (山路方 022-234-0701)
 ■URL <http://www.sendainewphil.com>
 ■プレイガイド フジサキ (022-261-5111) 三立楽器一番町店 (022-265-6211) 十字屋 (022-266-4321)
 ヤマハ仙台店 (022-227-8514) カワイ楽器仙台ショップ (022-221-4251)

宮城県民会館
2001 10 | 21
(Sun)
開場 13:30
開演 14:00
〈全席自由〉
一般 ¥1,500
高校生以下 ¥800

CONDUCTOR

未廣 誠
SUEHIRO Makoto



ツのワイマール市で開催された国際夏期セミナーに参加。H・レーグナー氏のもとで研鑽を積み、最終コンサートでイェナーフィルハーモニー管弦楽団を指揮する。同氏より絶大なる称賛を受け、チューリ

ンガーアルゲマイネ紙には真にプロフェッショナルな指揮者との高い評価を受ける。1991年5月、再び招かれてサボルチ交響楽団を指揮。

1991年12月、ポーランドのカトヴィツェ市で開催された、第4回G・フィッテルベルク国際指揮者コンクールに於いて優勝、第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。1992年のシーズンより、シレジアフィルハーモニー管弦楽団、クラコフ放送管弦楽団、ポーランド国立放送交響楽団など、ポーランド国内の主要オーケストラを指揮。また国立シレジア歌劇場にてブッチェニの「トスカ」を指揮しヨーロッパでのオペラデビューを果たし、同歌劇場の定期的な客演指揮者として契約。1992年、ブッチェニ「マダム・バタフライ」(蝶々夫人)で大成功を取めた。併せてクラコフ放送管弦楽団の首席客演指揮者にも就任する。

日本国内では宮城フィルハーモニー管弦楽団(現：仙台フィルハーモニー)指揮者、群馬交響楽団指揮者、札幌交響楽団指揮者を経て現在に至る。

鹿児島生まれ。鹿児島大学、及び桐朋学園大学卒業。指揮を秋山和慶、堤俊作、H・レーグナーの各氏に師事。

1981年鹿児島オペラ協会10周年記念公演に於いて、石井敬作曲オペラ「カントミ」の初演を指揮する。1987年、銀座にオープンしたく銀座セゾン劇場のこけら落としては、M・コンスタン作曲、P・ブルック演出の「カルメンの悲劇」を50日間にわたって指揮し、世界各地より招かれた歌手や、コンスタン氏自身より絶賛を受ける。1989年、東京の青山劇場に於いて、R・コルサコフのオペラ「サルタン王の物語」日本初演の訳詞及び指揮を担当し、好評を博す。その他の日本各地でオペラを手掛け、幅広いレパートリーを持っている。

また、1986年の貝谷バレエ団公演においては、小島佳男作曲「獅子」の初演でバレエ界にもデビューする。以後、多くのバレエ公演も手掛けている。

1990年6月、ハンガリーのニーレージハーザ市においてサボルチ交響楽団を指揮、同年7月、東ドイ

SOPRANO

渡部 ジュディス
WATABE Judith



マレーシア、イポー市生まれ。英国リヴァプール市マセイ音楽院、米国オハイオ州マスキングム大学音楽科卒業。宮城学院女子大学音楽科研究科終了。岡村直子、福沢アクリヴィの各氏に師事。87年、88年霧島音楽祭参加。87年同音楽祭奨励賞受賞。1979年、86年、90年、99年、2000年にリサイタル開催。仙台オペラ協会で「魔笛」夜の女王、「ドン・ジョバンニ」ドンナ・アンナ、「蝶々夫人」蝶々夫人、「こうもり」ロザリンデ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「修道女アンジェリカ」アンジェリカ、「カルメン」ミカエラ等を演じた。又、毎夏リリカイタリアーナオペラツアー公演としてスロヴェニア、マリポール国立歌劇場にて、「ラ・ボエーム」ミミ(95年)「椿姫」ヴィオレッタ(97年)を、イタリアサチーレ野外劇場にて「蝶々夫人」蝶々夫人(96年)を演じた。他、各種の演奏会においてモーツァルト：大ミサ曲ハ短調(K427)、ベートーヴェン：第九交響曲、ヘンデル：メサイヤ、フォーレ：レクイエムなどのソリストをつとめる。

現在、宮城学院女子大学音楽科、山形大学各講師。エバグリーンハーモニー指導。仙台オペラ協会、宮城県芸術協会会員。平成12年度宮城県芸術奨励賞受賞。

TENOR

田中 誠
TANAKA Makoto



国立音楽大学声楽科、同大学院オペラ科修了、在学中に、オットマール・スウィートナー指揮・演出によるヘンデルの「アチスとガラテア」でオペラデビュー。以来、二期会公演の「ヴォツェック」「椿姫」、日生劇場オペラシリーズ「魔弾の射手」「蝶々夫人」「沈黙」をはじめ「カルメン」「さまよえるオランダ人」「フルキュレ」等数多くのオペラに出演。また、コンサート歌手としてもヴェルディ「レクイエム」、ベートーベン「第九交響曲」、ハイドン「天地創造」「四季」、メンデルスゾーン「エリア」等のソリストとして常に高い評価を得ると共に、清水脩作曲の歌曲集「智恵子抄」全曲によるリサイタルを開くなど日本歌曲の演奏にも意欲的に取り組んでいる。97年ミラノに留学。現在、二期会会員。

BARITONE

松本 進
MATSUMOTO Susumu



国立音楽大学声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。野崎靖智・平野忠彦・中山悌一の各氏に師事。

1981年、二期会オペラ「ニュルンベルグのマイスター・ジンガー」のハンスザックス役に急遽代役として出演し、彗星のごとくデビュー。この長大な作品に対し、新人とは思えぬ堂々とした舞台をつとめ一躍注目を集めた。この業績によって、第9回「ウィーナワルドオペラ賞(ジローオペラ賞)」を受賞。1982年より、文化庁在外研修員として、2年間ウィーンに留学。リリー・カラー女史に師事。

1983年一時帰国し、日生劇場20周年記念公演で「魔笛」の弁者を歌う。1984年に帰国した後は、「魔笛」のパパゲーノ、「ジャンニ・スキッキ」のタイトルロールを始め、「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「セヴィリアの理髮師」「愛の妙薬」「椿姫」「アルジェのイタリア女」「蝶々夫人」「リゴレット」「ファルススタッフ」「タンホイザー」プリテンの「真夏の夜の夢」「パリアッチ」等に加え、「人買い太郎兵衛」「黄金の国」「ちゃんちき」「金閣寺」「モモ」「罪と罰」「沈黙」といった邦人のオペラにも多数出演。いずれも好評を博し、舞台には無くてはならない存在になっている。1999年8月「エディンバラ国際フェスティバル」の「トゥーランドット」では絶賛された。

また、コンサートにおいても「第9」を始め「カルミナ・ブラーナ」「メサイア」「エリア」「天地創造」「戦争レクイエム」等のソリストとして幅広く活躍している。

2001年1月(東京)・3月〔ソウル〕で公演の日韓共催オペラ「春・春・春」に出演し高い評価を受ける。

ORCHESTRA

仙台ニューフィルハーモニー

1981年9月、約20名の弦楽器奏者で創立された仙台ニューフィルハーモニーも20年目を迎えて着実に力をつけ、現団員約90名の成熟しつつあるオーケストラとして益々発展を続けている。

創立当時より、大きな目標の一つに「自力演奏を目指す」ということがあり、そのために、団員一人一人の努力は勿論、演奏指導、運営に携わってきた役員・係も含め、種々な困難に対処してきた。

現在では仙台市内はもとより、宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を目指した結果、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、ここ10年は優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、音楽への取り組み方も向上し、高い評価を受けるまでになった。

MEZZO SOPRANO

中村 敦子
NAKAMURA Atsuko



武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。第6回JILA音楽コンクール声楽部門第2位。第62回日演連推薦新人演奏会に出演。仙台オペラ協会に所属、「カルメン」のタイトルロール、「トロバトーレ」アズチーナ、「蝶々夫人」スズキ等に出演。その他、各種演奏会に多数出演。

姉齒けい子、砂原美智子、田手道子、平田典之、ジャンフランコ・リヴォリ、ジュリアーノ・チャンネッラ各氏に師事。また、フィオレンツァ・コッソットによる公開レッスンを受講する。

CHORUS

仙台ニューフィルと「第九」を歌う合唱団

仙台ニューフィルと「第九」を歌う合唱団は、仙台放送合唱団と仙台フィルハーモニー合唱団という名実ともに仙台を代表する合唱団を中心に構成されています。

仙台放送合唱団は、仙台ニューフィルとこれまでにベートーヴェンのピアノ・合唱・オーケストラのための幻想曲、オルフの世俗カンタータ「カルミナ・ブラーナ」、ホルスト/組曲「惑星」、ドビュッシー/夜想曲で共演し、その力を余すところ無く発揮しています。

仙台フィルハーモニー合唱団は、現在約150名で、構成は学生から会社員、主婦と幅広く、年齢も二十代から六十代まで実に各層の方が純粋に合唱をしたいという気持ちで集っています。毎年、仙台フィルの定期演奏会で取り上げられる合唱曲と暮れの「第九」の演奏で仙台の聴衆の耳を楽させています。

団員募集

仙台ニューフィルハーモニーでは、現在、団員を募集しております。募集パートは、Violin, Viola, です。問合せは、仙台ニューフィルハーモニー事務局(山路方)、022-234-0701まで。